

## <議事概要>

### 1. 開会

司会の都市計画課・岩本係長の発話に続き、都市整備部・原田次長が開会のあいさつを行った。（原田次長のあいさつ内容は、以下に示す）

### 2. 議事

第1回ワーキングの開催結果等について、（1）都市計画マスタープラン、（2）住宅マスタープランの順に、質疑応答の概要を以下に示す。

発言者	議事概要
原田次長	<p><b>開会あいさつ</b></p> <p>皆さん、おはようございます。皆さまにおかれましては議会対応に大変お忙しい時にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、現在都市整備部では、昨年度策定された第6次加西市総合計画を受けまして、約10年ぶりに都市計画マスタープランと住宅マスタープランの改定を行うこととしております。どちらも10年、20年先のまちづくりの将来像を定める非常に大事な計画となっております。</p> <p>今回新たな試みといたしまして、都市計画マスタープランと住宅マスタープランの業務委託を一括に発注し、ワーキンググループ、策定委員会などの審議過程も同時にすることとしております。これによりまして、これまでよりも都市政策と住宅政策の施策の連携を高め、データ分析などの面ではコストの削減、省力化を図っていきたいと考えております。</p> <p>皆さんには何かと、ご協力をお願いすることがあるとは思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。</p> <p>非常に簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。私と松尾補佐は今から議会の勉強会の方に行きますが、また再度戻って来ますので、どうぞ宜しくお願いいたします。</p>
きてみて住んで課  事務局	<p><b>（1）都市計画マスタープランについての質疑応答</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>資料I-5 現行計画評価シートに記載の取組内容は、たぶん平成24年の計画策定時がベースになっているので、空き家問題、空き家の利活用についてはこの時は挙がっていないが、今回のマスタープランの中には挙げていくという考えになってくる。一方で、市民アンケートの項目には、空き家に関する設問項目は無いのでそもそも市民の人がどう思っているかは、このアンケートでは見えてこない。現行計画評価シートや市民アンケートに項目として挙がっていないものでも、今回の見直しで追加していくということか。</li><li>項目はあくまでも参考としてこちらでピックアップしている。重要とされている内容以外でも、各課で重点的に取組をされようとしていることがあれば、新たに書いていただきたい。</li></ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善度が低いから何もしないというわけでもない。近年にも、総合計画などで市民を対象としたアンケートをしてきたので、ご負担を減らすため、かなり項目を絞っている。今回のアンケート項目に記載されていないものについては、施策として近いものに分類して記載している。例えば住環境みたいなところで強引に改善度を付けている。現行計画評価シートで、要改善、改善検討になっているものだけを考えるのではなく、維持、積極維持の施策であっても、何かをしていくことが、今後の強みになっていくかも知れない。そういう意味で今後の対応について書いていただければと思う。</li> <li>・空き家についてはアンケート項目になくても、自由意見に書いておられる方が居るので、実際は問題になっていくと思われる。</li> <li>・例えば、今の資料で19ページの上から3項目め、土地利用に関する方針で、北条町駅を中心としてという長い文章にすごく具体的に書いているが、ここに書いてある内容が、東高室の商業ゾーンの規制緩和をするために付け足したような形になっている。規制緩和するために、平成30年の都市計画マスタープランの改定に合わせて付け加えたが、ここまで具体的に書かないと出来なかった。大きな事業であればあるほど、ここまで具体的に書かないといけない。これは極端に具体的な内容なので、ここまで書かなくても、ぼやっと、こういうふうな事業を進めていきますという書き方でも良いと思うのでご検討いただきたい。</li> </ul>
土木課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要改善、改善検討の部分で施策の内容に挙げているのは、結構だぶっているものが多いので、少なくすることは可能か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーで網掛けしているものは、他に記載されている施策とほとんど変わらないため、これはだぶりだと判断している。ここへの記載は要らない。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だぶっていることで言うと、初めにご説明した計画の構成で、マスタープラン策定の流れ(資料I-1)の3ページにある計画の構成自体が、まず全体構想を、次に地域別構想を作る構成になっている。全体構想で謳ったものを地域別構想でも書いているので、同じ項目がだぶったような形で出て来ている。</li> </ul>
鶴野未来課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策のところで、新しく出していくものは、まだ具体性が全然無く、あったら良いなぐらいのレベルでも挙げればいいのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もちろん、いずれあるべきものになっていくのであれば。あったら良いなというレベルでも挙げていただきたい。</li> </ul>
こども未来課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴野未来課と同じような状況で、具体的に場所が決まっていないものは、ぼやっと書いても良いか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画の時にも児童館をどこに作るかみたいなことで、ぼやかして書いてもらう話をした。具体的な場所が言えないならぼやとした形で、こういう施設を作ります、児童館を作ります、みたいな書き方はまた相談する形になると思うが、出来るだけ具体的に書いた方が私どもは進めやすい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定期間が2年間あり、今からだと後1年半ぐらいですが、最後で変えても良いので、少しでも考えているものがあれば記載いただきたい。</li> </ul>
<b>(2) 住宅マスタープランについての質疑応答</b>	
きてみて住んで課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドの P37、「5-2. 計画の構成と骨子 (案)」の「環境にやさしい住生活の実現」で、既存ストックの改善・再活用というのがあり、一方で、「いきいきと暮らせる住生活の実現」の中で、空き家、既存住宅のストックを活用した住まいづくりがある。これは内容的に重複するのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行施策が10年以上前のもので、( )で書いているが、中古市場の活性化(借家市場)になっており、既存ストックの改善、再活用については、スクラップアンドビルドをしないという趣旨の内容になっている。現行住宅マスタープランの基本施策が、少しまたがっていたり重複していたりするのは、それぞれの趣旨に合わせて今後修正したい。再掲にならないよう、各課の評価シートをいただいて、どちらかに集約して趣旨を分かりやすく整理をする。</li> <li>・今後のスケジュールは、12月中に策定委員会、2回目のワーキングが1月下旬。それまでにいただいた施策を踏まえて、マスタープランの素案を作る。素案について、次回のワーキングで確認いただき、策定委員会に掛ける。皆さんからいただいた施策を網羅したマスタープラン素案について、記載漏れが無いか、もしくは追加が無いかを確認していただくのが、次回のワーキングのテーマとなる。</li> </ul>

以上